



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市横越総合体育館
 試合区分：成年女子 2回戦
 開催期日：2009年10月3日(土)
 開始時間：11:45

GAME No. 1003C2

主審：緒方 崇
 副審：北見 義樹

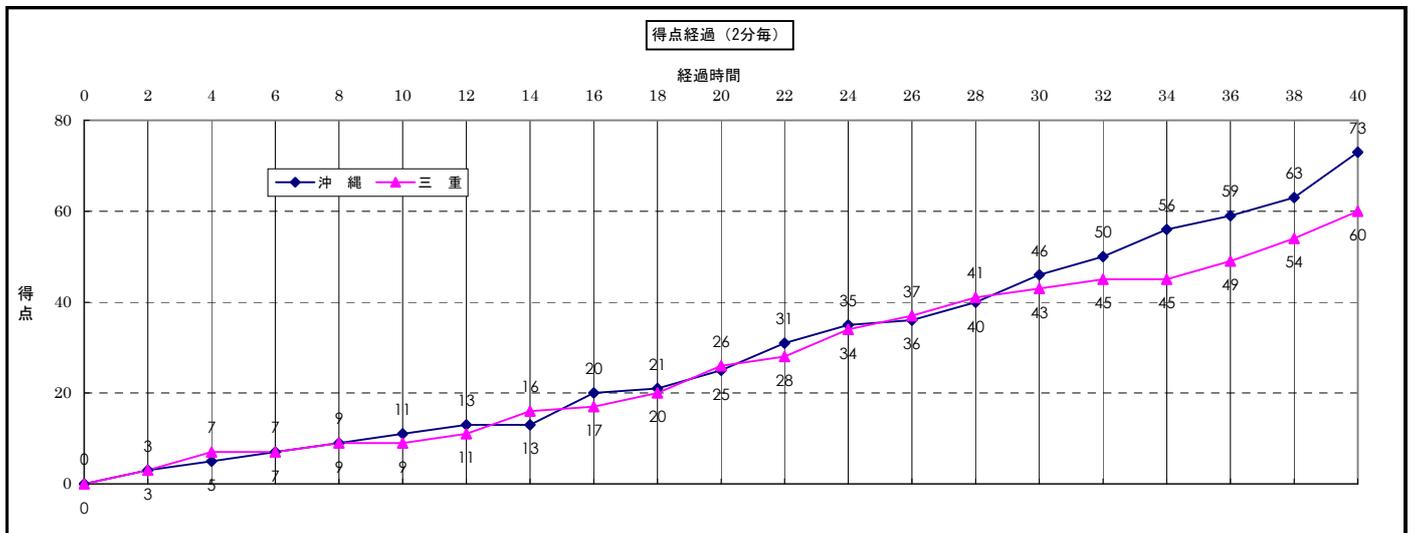
Team A	○	11 -1st- 9 14 -2nd- 17 21 -3rd- 17 27 -4th- 17	●	Team B
沖 縄	73		60	三 重

TEAM A		沖 縄					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		岡本 好美	—	—	—	—	—
5	*	長田 葉月	16	2	4	2	4
6		澤岬 忍生	0	0	0	0	1
7	*	宮城 ちづる	10	0	4	2	2
8	*	西兼盛 しの	4	0	1	2	3
9	*	喜納 由美子	4	0	2	0	3
10	*	呉屋 菜美子	20	0	8	4	3
11		金城 智愛	2	0	1	0	1
12		名護 千奈津	0	0	0	0	2
13		島袋 友見	17	1	5	4	1
14		宮城 美樹	0	0	0	0	0
15							
Coach		日越 延利					0
TOTAL			73	3	25	14	20

TEAM B		三 重					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	中川 亜美	1	0	0	1	2
5	*	井ノ上 みどり	6	0	1	4	2
6	*	太田 かおり	19	3	5	0	3
7	*	中尾 恵梨子	3	0	1	1	3
8		掛田 真希子	0	0	0	0	4
9		浅野 有美	0	0	0	0	2
10	*	二井 登紋子	13	1	4	2	2
11		鹿島 理恵子	8	0	3	2	0
12		伊藤 絵美	2	0	1	0	2
13		藤口 由加里	6	0	2	2	1
14		戸田 雅子	2	0	1	0	0
15							
Coach		岡田 幸雄					0
TOTAL			60	4	18	12	21

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	—	—	24:48	38:31		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	—	—	28:44	34:55		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、沖縄、三重共にハーフのマンツーマンディフェンスでスタート。沖縄は激しいディフェンスから、速いバスケットを展開。立ち上がり、沖縄#10呉屋のミドルシュート、#7宮城のレイアップシュートで流れをつかむ。一方、三重も#6太田の3P、#10二井のカットインで応戦。両チームとも走りあいが続く。ゲームの流れをつかみたい三重は、残り6分でメンバーを入れ替え、ディフェンスをオールコートのマンツーマンに切り替える。その後、一進一退を繰り返し、11-9の沖縄リードで1Qを終了した。

2Q、三重は最初のメンバーに戻し、オールコートディフェンスで主導権をねらう。三重#10二井の3P、#14戸田のレイアップシュートが決まるが、残り3分で三重のチームファウルが5つに達し、沖縄にフリースローを与える。しかし、この後三重#11鹿島のミドルシュートが決まり、三重が再逆転。25-26の1点リードで前半を終了した。

3Q、沖縄は、#宮城、#呉屋などが連続得点。5点のリードを奪う。しかし、残り4分でリバウンドの中心である#5長田が4回目のファウルで交代。三重は、#6太田のパスカットから#10二井のゴール下シュートで逆転。沖縄は、オールコートディフェンスで、#12名護のゴール下シュート、#10呉屋のフリースローで再逆転。残り1分、ペースをつかんだ沖縄が再逆転し、結局46-43で最終クォーターへ。

4Q、沖縄は#5長田をコートに戻し、序盤でリズムをつかみ、11点のリードを奪う。三重はたまたまタイムアウト。三重は、#5井ノ上のカットイン、#6太田のミドルシュートで応戦。しかし、チームファウル5つで沖縄にフリースローを与え、力尽きる。最後まで好ゲームを展開した両チームであったが、スピードと運動量が落ちない沖縄が73-60で接戦を制し、ベスト16へと勝ち進んだ。

記載責任者	本間 昇	(所属)	新潟県バスケットボール協会
-------	------	------	---------------